

敬うやまつて

大慈大悲だいじだいひの阿弥陀あみだ如来にょらいの尊前そんぜんに

白もうして言もうささく

本日ほんじつここに

有縁遠近うゑんおんこんの道俗どうぞくとともに

恭うやうやしく仏前ぶつぜんを莊嚴しようこんし

懇ねんごろに聖教しようきょうを読誦どくじゆして

寺前坊守

釈しゃくの葬儀そうぎを修しゆし奉たてまつる

顧かえりみれば

故人こじんは坊守ぼうもりとして

長ながく寺門じもんの繁栄はんえいに努つとめられたり

この間かん

多おおくの聴聞ちやうもんの座ざに連つらなり

別べつして仏教ぶつきやう婦人ふじん会かいの發展はつてんに

力ちからを尽つくす

その徳は万人の慕うところなり  
然るに

去る 月 日

歳を一期として

往生の素懐を遂げ給えり

なつかしき温容は

安樂世界に往き給えども

その遺徳は我等の内に生く

然れば

故人有縁の人々

この悲しみを縁として

いよいよ聴聞に勤しむ

永くその遺訓を胸に抱きて

念仏の大道を歩み続けん

希わくは

今より以後

大悲還相の菩薩となつて

濁乱じよくらんの世よを照てらし

もって 我われらを導みちびき給たまわんことを

時ときに 年 月 日

寺住職じじゆうしやく

釈しゃく

敬うやまつつて言もうす

本日ここに

寺前坊守

様の葬儀に当たり、

組寺族婦人会一同を代表して

謹んで哀悼の言葉を捧げます

あなたは日ごろから

仏法に対する志ことに篤く

朝な夕なにお念仏にいそしみ

組寺族婦人会の一員として

その癸展と寺門の護持に

尊い御生涯を捧げられ

そのお姿は

まことに婦人の亀鑑でございました

今葬送に当たり

過ぎし日の数々の出来ごとを

思い起こしますと

愛惜の念一入であります

しかしながら

後に残った私たち一同は

この悲しみを縁として

何時いつまでも

あなた様の面影をしのびつゝ

ご法義の繁栄のために

努力する所存でございます

何卒これからは

み仏の因より御照覧いたさ

篤く冥護を垂れたまうことを

念じまして

簡単ではございますが

哀悼の言葉といたします

年 月 日

組寺族婦人会

本日ここに

前坊守

様の葬儀にあたり、

謹んで哀悼のことばを申し上げます。

会ったものは

必ず別れがあるということは、

この世の慣いと

かねてより

聞かせていたただいておりましたが、

今、あなたとの

今生の別れが現実のものとなりました。

共に

浄土での再会疑いなくと期しましても、

まことに悲しく、

寂しさのきわみであります。

あなたは、

仏法に對する志きわめて篤く、

前住職ぜんじゆうしよくに嫁よめがれて以来いらい、

長ながきにわたり住職じゆうしよくをたすけ、

御法ごほう義ぎ繁はん昌じようと

寺じの発はつ展てんのため

献けん身しんくださいました。

長年ながねんのご努力どりよくに對たいし、

門徒もんどう一同いちどう

深ふかく感かん謝しゃ申もうし上あげるしだいであります。

あなたあなたの法座ほうざ毎ごとの熱心ねっしんなお聴聞ちようもんの姿すがた、

常々つねづねにお念仏ねんぶつ申もうされていた

お喜よろこびの姿すがたを、

わたくしは忘わすれることができません。

今いま、ここに

過すぎし日ひの数々かずかずの出来事できごとを

思おもい起おこしますと

愛惜あいせきの念ねんひとしおであります。

しかしながら、

わたくしたち一同は、

この悲しみを縁として、

一層のみ教えの広まりと

寺発展のために

尽力してまいる所存であります。

このうえは

還相の仏さまのおはたらきとして

わたくしたちを

お導き下さることを念じつつ、

何時の日か

お浄土下の再会を期し、

哀悼の言葉といたします。

年 月 日

寺仏教婦人会